

私がこの社会でやってきたこと

## 私と海上保安とロシア

山崎 敏則【元海上保安官 1980（昭和 55） 年度卒】

### 1 自己紹介

山崎敏則（やまざきとしのり）1958（昭和 33）年 10 月生まれ（65 歳  
2023 年 12 月現在）血液型 A さそり座 小樽市出身 家族 妻、娘  
×2 好きな食べ物 だし巻き卵、魚介類他



### 2 ロシア語の世界へ

昭和時代の環境 戦前・戦中派が働き盛り世代（樺太出身者・シベリ  
ア抑留経験者もあり）ロシア文学・クラシック音楽

当時、ロシアはソヴェト社会主義共和国連邦：所謂ソ連。東西冷戦真っ只中。

鉄のカーテン。当時のソ連は未知の国。1976（昭和 51）9 月函館へのミグ 25 戦闘機の強  
行着陸。未知との遭遇

### 3 海上保安庁へ

ロシア関係の就職先 1979（昭和 54）年 12 月、ソ連のアフガニスタン侵攻により低調  
札幌大学卒業時の就職活動 マスコミ系（新聞社、映像作成、広告代理店）  
海上保安庁～ロシア語学科で学んだロシア語を使えるかも。

1981（昭和 56）年 4 月海上保安庁入庁（京都府舞鶴市海上保安学校へ入校）

以後、釧路・根室・小樽・稚内・留萌・一本部・花咲・紋別等で勤務

### 4 海上保安庁とロシア

第一管区海上保安本部（北海道対応管区）北海道、北はサハリン、東は北方領土、西は  
沿海地方という地勢環境、所謂国境管区。入港ロシア船に対する立入検査、対口情報収  
集活動、ソ連・ロシア船舶の海難救助、被だ捕、被銃撃への警戒、抑留漁船員の引き取  
り業務、ロシア入港船員による銃器・薬物事案捜査、ロシア国境警備局との連携と警戒  
（海上保安庁とロシア国境警備局との合同訓練、外務省出向（ロシア在外公館勤務：ユ  
ジノサハリンスク、ウラジオストック、ハバロフスク等）

### 5 職場としての海上保安庁

海上保安庁全体の業務から見るとロシア語を使用する業務はほんの僅か

ロシア語は他の業務遂行における貴重なアイテム：対ロシア業務は非常に重要かつ濃密  
ロシア語業務研修（海上保安業務に必要なロシア語を学ぶ：ロシア語基礎過程 1 年、ロ  
シア語実務過程 1 年：広島県呉市海上保安大学校）

ロシア語を通して海上保安庁内外とのつながり（通訳、研究者、地方自治体、他官庁の  
ロシア担当者、ロシア関係事業者、マスコミ関係者等々）

### 6 海上保安庁を退職して

2019（平成 31）年 3 月海上保安庁退職

退職後もロシアとなんらかの関わりを持ちたくて

千島歯舞諸島居住者連盟（千島連盟）の賛助会員として北方領土返還要求運動の活動

元北方領土島民から当時の状況を聴き取り。高校等への北方領土講座

母校札幌大学の学部・大学院の科目履修生（ロシア史、日ロ関係史、ロシア語演習、北方史概論等）1年間。2021（令和3）年3月 論文「アダム・ラクスマンの階級に視点をおいた日本来航目的の再考」作成・発表

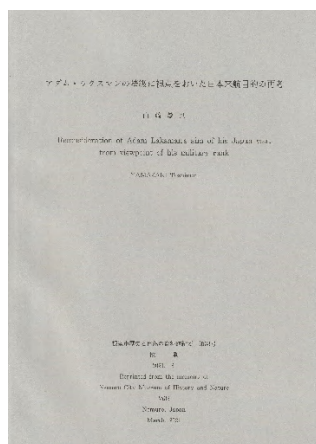
## 7 終わりに

札幌大学ロシア語専攻で学んだロシア語というチャンスを生かすのはあなたたち次第

## 8 研究発表

根室市歴史と自然の資料館紀要第33号 2021（令和3）年3月

「アダム・ラクスマンの階級に視点をおいた日本来航目的の再考」



## 9 メモ